

町 長	副町長	課 長	主 幹	担 当	合 議

別記様式第 4 号

会 議 等 結 果 報 告 書			
会議区分	会議・打合せ・協議	文書番号	
		決裁期日	平成 2 2 年 2 月 1 8 日
名 称	第 4 回 上富良野町地球温暖化対策地域推進計画策定委員会		
日 時	平成 2 2 年 2 月 1 8 日 (木) 午後 1 時 3 0 分 ~ 2 時 3 0 分		
場 所	役場 3 階 第 3 会議室		
出席者	委員：佐川泰正、三本孝洋、瀬尾祐二、島瀬良一、安川美音子 事務局：田中、林、野寺		
内 容	1 開会		
	2 委員長挨拶		
	3 議事		
	・ 前回の会議で三本委員から指摘のあった P51 の削減行動による二酸化炭素削減量の項目中の「週 2 回クルマ通勤をやめる」の通勤距離はどれくらいかという点について確認したところ、概ね 2.4 km とのことだった。中途半端な距離のため、4 km という設定で表記するなど、表記方法について検討したい(事務局)		
	・ P46 の「メタンを減らすのは現実的ではない」という表記について、先日行った課長会議において「家畜の飼育頭数を減らさなくてもメタンを減らすことは技術的に可能になってきている」との指摘があったことから、その表現を「メタンは技術的に可能な限り削減する」といったような表記としたい(事務局)		
	・ 本委員会も今回が最後の会議となるが、計画を作って終わりではもったいないという考えから、建設業協会では 4 月 24 日に講演会の開催を予定しているが、その席上、町から今までの取り組みについて説明をお願いしたい。また、町としてのこれからの展開についての考えを教えてほしい(佐川委員)		
	役場だけでの取り組みだけでなく、町全体、日本全体、世界全体が取り組んでいかなければならない問題。そのためには、ひとりひとりの実践が伴わなければならないので、ぜひ積極的な広報、啓蒙を行っていく(事務局)		
	・ 協議会をつくって活動の輪を広げていくことはもちろん重要だが、広報はもっと重要。力を入れて取り組んでほしい(三本委員)		
	予算がまだ決まっていない段階だが、次年度に町民エコセミナー、町民ワークショップの開催を計画している。今回の会議で終わりではなく、委員を終えた後も旗振り役として頑張ってもらいたい(事務局)		

